

# 身近な林の印象表現に関するアンケート調査結果

～喜怒哀楽でつきあう林～

2009/03/09

雑木林&庭づくり研究室 草苺 健

## 1. アンケート調査の動機とねらい

日本人の森や林との付き合いは今決して活発で深いとは思えない。その一方で、森や林は地球環境など、大きな概念としては実に大きく喧伝されて人の口に上ったりする。その、頭でっかちの自然理解はメディアによる影響ももちろんだが、もうひとつは、付き合い方の入り口がわからないということもありそうだ...

そのような仮説をもちながら人々のところと林や森が日常どのように響きあっているのかを、いろいろな林や森の画像をみてもらい情緒的印象表現を拾ってみた。特に、苫小牧は住宅地と森林地帯の間に田園や里山という移行帯を欠いており、住宅地からすぐ民有林や国公有林が広がっている。その気になればいつでも林に入ることができる環境にある。そうでありながら、利用のきっかけが見つからないのであれば、その林の特長をわかりやすい情緒的な表現で表して市民がその時々「日常の気分で林を選ぶ」ことができるのではないか。

2009年11月29日、北海道大学苫小牧研究林を会場にして開催した「こころの森フォーラム」の事例報告に際して、画像を見てもらいながら印象を記入するというアンケートを行った。環境や資源系の言語でなく、どの程度情緒的なとらえ方がなされているのかを知るためである。

## 2. アンケートの方法

次の「内容」で示すようなシートを用意し、筆者が11箇所の森林の画像を、説明を少なくしてかなり早いスピードで映写しながら、箇所ごとに簡単な印象や感想を記入してもらった。印象も感想も特に厳密な使い分けはしているわけではなく、情緒的な言葉を出やすくするために単純に2項目で聞いた。あえていえば、直感的なものを「印象」、少し考え込んで相対的なこととか比較の時間も持った上で記入されるのが感想と言えるかもしれない。参加者は説明と画像送りのスピードに追従して速いテンポで記入した。

画像映写した直後の、参加者が用紙に記入し始める場合に、透視能力をもつ女性（通常巫女さまと呼ぶ）に見てもらった印象表現を短く伝えた。情緒的、霊的表現を喚起するためである。

## 3. アンケートの内容

内容は次のとおりとした。表記は当研究室がフィールドにしている苦東エリアを5箇所冒頭に並べた後、順次、市の西部にむけて進め、最後は市営の錦大沼公園とした。

アンケート用紙（下記は縮小版）

**林の印象などの記入用紙**

\* お住まい \_\_\_\_\_ 市・町

\* 性別            男性      女性

\* 年齢            \_\_\_\_\_ 歳台

\* 森や林に行く回数(春から秋)

毎日いく      毎週のようにいく      毎月      回程度

年              回程度      行くことがない

場所名	第1印象	感想
つた森山林		
小屋周辺		
笹道フットパス		
大島山林		
柏原		
北大研究林		
有珠の沢		
豊川・山椒の丘		
こもれびの道		
糸井山神社		
錦大沼公園		

## 4 . 回答の結果

### (1)参加者の属性、傾向

全参加者は50人以上、記入された参加者は42人だった。苦小牧在住者がほぼ半分、札幌からが4分の1だった。男女比はほぼ同じだった。苦小牧の参加者の半数は、毎週林を訪問、うち女性の3分の1は毎日林を訪れている。毎週行く苦小牧の男性の年齢は50歳代と60歳代だった。苦小牧で最も市民が訪れる森林は北大苦小牧研究林と考えられること、

またフォーラムの総括スピーチを石城謙吉元林長が行う予定だったために、そのファンの方、支援者も参加された形跡があり、結果として訪問頻度が高くなった可能性がある。

参加者の属性は非常に幅があった。職業の記入欄は設けなかったが、仲介した団体からの情報や筆者の関係者から類推すれば、森林行政系（道、市）のOBと現役、環境系NPO、大学の研究者、森林と環境に関心の高い市民、森林のメンタルな効果に関心の高い市民などである。したがって、参加者の多くは広い意味で森林を身近に感じながら森林に何らかの意味で関心の高い人ということになる。

### 地区別・年代別・性別参加者

苫小牧	年代	男	女
	30	1	1
	40	2	5
	50	3	2
	60	3	2
	70	1	1
	計	10	11
札幌	年代	男	女
	30	1	
	40	1	
	50	1	1
	60	1	3
	70	2	2
	計	6	6
その他	年代	男	女
	30	1	2
	40	2	1
	50		1
	60	1	1
	70		
	計	4	5

	男	女
苫小牧	10	11
札幌	6	6
下川	1	
千歳		1
当別		1
浦河		1
小樽		1
喜茂別	1	1
倶知安	1	
東京	1	
計	20	22

### 林に行く回数（苫小牧からの参加者）

		毎日	毎週	月数回	年数回	計	無回答
苫小牧	男		8			9	1
	女	3	3	2	1	10	1

### 林に行く回数（札幌からの参加者）

札幌		毎日	毎週	月数回	年数回	計	無回答
	男		4		2	6	
	女			2	4	6	

### 集計結果

4 p以降のA3サイズ表を参照

2008/11/29 こころの森フォーラムのアンケート結果

\* = 付属感想

通しNO	整理NO	住まい	性別	年代	森の頻度	つた森山林	小屋周辺	笹道フットパス	大島山林	柏原	北大研究林	有珠の沢	豊川・山椒の丘	こもれびの道	糸井山神社	錦大沼公園
1	13	苫小牧	男	40		入りやすそう * 平坦なのでトレイルランとかできそう		やや入りづらい * 枝下が低い 先が見透かせない	家の近くに欲しい	シカのためにある草地 * エゾシカの楽園	日本じゃない	欲しい広葉樹林 * 買うならこういう山林かな	「山椒の丘」いいんじゃない	お手軽森林浴		一般的な公園
2	33	苫小牧	男	40	毎週	こちよ		清涼		広々	親しみ	遊び				
3	14	苫小牧	男	50	毎週	明るい * 明るく手入れされた林	なつかしい	若い	人の気配がない	?	水	流れ	?	人と近い	?	管理された森
4	22	苫小牧	男	50	毎週	静寂、こもれび * 若い	明暗	電車ごっこ、お手手つないで	未整備もあり親しめる	防風林、リスがいそう	整然としている * 親しみやすい、なごむ	こけむした静寂	?	親しみやすい、安心 * 健康	神聖	龍の森
5	37	苫小牧	男	50	毎週	すがすがしい感じ	いやし	希望	いってみたい	広々	季節の移ろい	水音が聞こえそう	開ける	いこい	サクラが見たい	開放的
6	41	苫小牧	男	60	毎週	明るい	うっそうとした	よい森林浴の場	うっそうとした	開けたところ	色々あり散策にはよい	川のせせらぎが聞こえる	里山らしい	散策によい	落ち着きさ	色々あり散策によい
7	39	苫小牧	男	64	毎週	明るく散策が気軽にできる * 是非子供たちに遊んでもらいたい	開拓村を思い起こす * 陰気さい	道があるのは考えず歩けるどっちに行くか違いがなく * うっとおしさはない、自然の姿を素直に受け入れる	早春のカイテキさを感じる * 特にやわらかく優しさを感じた、緑が美しい	自然を程よく残しているのが良い * 自然と生活の調和を考えさせられた	整備され安心して散策できる * 自然も多く嬉しくなるところである	小川があり幼い頃を思い出させてくれる * 子供たちを古川で遊ばせたらどんなに喜ぶだろうか	雑然とした中に一輪の花に印象を強くした * 自然の中に一厘の花や実は与える印象を大きく変えて		社殿は自然の多いところが威厳があり神秘的 * 陰気さくあまり好きでない。こわい印象がある	自然と整備がバランスよくみあわさっている * でも大衆化して面白さに欠ける
8	10	苫小牧	男	70	毎週	いこいの森 * 人のいやしい場所	縄文の思い出 * 眠りの森	縄文の思い出 * 大空の道(太陽の道)	新しい里山 * 育てよう大きな森へ	開拓の道すがら * 人の生活のにおいのある森	指導者の森 * 森へのいざない、森とのふれあい	マチと森との接点 * これからの林、水を認識する林	マチへの憩い * 隠れた名所	ミニアウトバーン * 木の生長を考えねば	里山の原型 * 初めて住んだ人の足跡	自然の前庭 * 鳥の目になって梢を、魚の目になって岸辺を、無視の目になって草むらを見よ
9	26	苫小牧	男	69	毎週	ゆったり、のびやか、ゆうゆう、広い * 是非歩いてみたい(これから安定に向かう)	安心、仲間、輪、探求 * 友達のわが広がりをそう(人を受け入れている森)	迷路からの脱出、好奇心、鋭い * 危機から脱出するファイトか(清々しい感じ、浄化)	快歩、安心、談笑 * 2~3任で(本州の森と似て親しみやすい)	広大、総会、演題、希望にあふれる * 開拓の心旺盛(草木の美しさに目を奪われる)	人間が訪れる森、親しみやすい * 人が訪れたい(川の感じが英国北部に似ている)	自然のまま、清き流れ * この姿を永遠に(小さな龍がたくさんいるよう、お礼をいう)	雑木林、これから開く草花 * 野生が一杯(草のエネルギー)	快歩、ウォーキング、ヘルシー * 文字通りウォーキングロード(ドミノ倒しのような)	小さな輝き、小さなほこり * 大きければよいというものではない(木の幹にエネルギー)	都市公園、人間公園、人工公園 * うーん、あまり自然を感じさせない(あらゆるものがバランス取れている)
10	9	苫小牧	女	40	毎日	気持ちが良い	あたたかい	こざっぱり	なじみやすい	雄大	開放感	こじんまりしたのどかさ			子供の遊びの森	ひんやり
11	15	苫小牧	女	40	月数回	整理されている * 歩きやすそう	人のおいと天然の香りが交じり合っている	小径が獣道のように天然の姿に近そう	手入れが行き届いた公園である	何かを待っているよう	マチから近い憩いの場、誰でも受け入れてもらえる	このままもう少し放っておいて欲しい	大人数で行くより一人でこっそり行きたいイメージ	固い印象	秋(冬?)の写真的なせい、さっぱり、さばさばした感じ	整備されているが深い森も残っている
12	38	苫小牧	女	40	毎週	明るい * 懐かしい	深い	さびしい	整った	広い開放感	親しみ	自然、天然	虫の目	風	茶(セビア)	湿った
13	29	苫小牧	女	50	年10回	やさしくやわらかな感じ	体を動かしてみたい * ここそこにエネルギーを感じる	ただ黙ってどんどん歩きたくなる * むだなことを考えずにただそこにいたいことだけを感じたい	だれかと行きたい林	大きい、遊べる	何かを発見でS切る、変化が楽しい * 見慣れた風景でも毎日見たいところ	水尾とが遠くにいても響いてきそう	草が元気！歩きにくいかな * 聞いたことがあったが場所がわからなかった	つくられたもの、という印象	昔話に出てくる神様がいます	苫小牧のなかで包み込んでもらえるところ * よく行くので、みると安心感が湧いてき
14	20	苫小牧	女	60	月数回	清涼	幼い頃の思い出	ノルディックとノスタルジー		胆振100年の森	素晴らしい人工林	いつまでも流れて	三升の丘と	身近に感じる	なつかしい風景	いつまでもここにいたい気と木と樹
15	42	苫小牧	女	60		緑がすてき	手をくわえている		親しみやすい	親しみやすい 昔を思い出す	心が和む場所	沢の小川がながみでいい	なじみの裏山	毎日の生きる道		清楚 * 心がいやされる
16	16	苫小牧	女	78	毎日						近くで静かで良い * 車が少なく、池がある					
17	5	苫小牧	女	30	毎日	ノスタルジックな森 * 蚊が多い	出会いの森 * 来訪者の思いが詰まっている	思考する道 * 道が開かれる	交流の森 * 開かれた森	里山 * 生活の跡を感じる	発見の森 * 人間界と自然界のバッファー	輝きの森、水が美しい * お礼を言わず水を汲んで車のトラブルにあってしまった話	萌える森 * 勢いを感じる	森林浴練習の森 * 住宅地と一体化している	願いの森 * 神聖ということ？ 空中都市マチュピチュ	再生の森 * 樽前山の前庭
18	3	苫小牧	女	40	毎週	明るい木漏れ日の森 * 楽しい、わくわく	静かな時間 * ひとり少人数で過ごしたい	小さな動物の気配 * 歩きながら自分の心と向き合う	子供たちの明るい声 * 安心して子供が走れる森	わたしの犬の散歩道 * 元気に走る犬と過ごす開放感	色んな葉っぱの音、水の声 * ささまざまな表情、音、風を楽しめる森	裏の林と小川 * 身近なほっとする場所	秘密の裏山 * 隠れたところからいつもの所を見下ろす	買い物行くのが楽しくなる道 * こもれびが日常の嫌なことを癒やす	初めてのデートの場所 * 日常がまだ狭い範囲・中学生のデートの場所	山と森と風と人に会いたいときの散歩道 * すれ違った人に気軽に「こんいちは」といって気持ちを分かち合いたくなる公園

19	4	苫小牧	女	40	毎週	穏やか *分け入るとすがすがしい気分	人を招く森 * WELCOMEというメッセージ	こころが静まる *もっと豊かになりたい	... *もっと関心を持って欲しい	豊かな森 *どうぞこのままで	やさしい森 *大切な居場所	水の清しさ *いたわりが必要	元気の出る森 *...	少し寂しい *もっと森が元氣になりたい	ささやかな守り神 *小さな聖地	包容力 *ずっと見つめてくれる
20	40	苫小牧	男	30	月1回	人為的 *公園のよう、整備しすぎ	静かだ *自然と人との調和が取れている	*林相が乏しい	うっそうとしている *神秘を感じる	田園風景 *肝試しによさそう	アクセスしやすい森 *車道が舗装されている だれでもこれる	*川の蛇行具合がよい		森とはいえない	神もいなさそう	親しみやすい *個人的には何度も行っている 何かのエネルギーを感じる森である
21	21	苫小牧	女	50	毎週	すがすがしさ	散歩しながらぼーっとしたい	雪の道を歩くのは好き、楽しい	楽しそう	心広くなる	心静かで大きな庭を持っているようだ	せせらぎの音がやさしい	ちょっと淋しい	歩きたい	季節でしょうがちょっと怖い	木がたくさんあって安心感ある
22	31	札幌	男	30	毎週	行きやすい	明るい	歩ける	人の気配がある	鳥が見やすい	公の場所	遊べる	刈りたい	バリアフリー	なつかしい	多様だ
23	17	札幌	男	40	毎日~年数回	整理されている	たよりない 助けが必要	あずましい 若い	街?	夢の跡 畑を失敗		川	すずしい	宮殿	かゆくなる	印象がうすい
24	18	札幌	男	70	年数回	手入れが行き届いた森 *美しい森、身近な森	若い森、単純性	淋しさを感じる森 *癒やしの森、浄化される森	活気、いきおいを感じる森 *本州の森に近い	オープンスペースが良感、森と緑地のバランスのとれた森 *フットパス	落ち着ける森	自然清流を大事にしたい	山椒大夫が住む森	造られた森、人々になじみやすい歩道、庶民の森	清心の森、洗心の森	重量感あり、趣の深い森、多様な森
25	32	札幌	男	70	週数回	子供との散歩道 *この土地を残すのであれば売ってやる	これからこれから *道ができる	歩ける道に幸せ	人とひとの小話 *町内が管理	静かな風	鳥の遊ぶオアシス	ラムレスの小川のある森	カムイミントラ		一步踏み込んで安心	木が多く不の森
26	11	札幌	男	54	年数回	一日中遊んでみたい	冥想の場、ひなたぼっこ	一人で歩く	コミュニケーションの場	ひたすら歩く、先に何があるかという楽しみがある	佇む	子供と森あそび	毎朝の散歩 元氣をもらう	犬との散歩		
27	6	札幌	男	60	毎週	明るい *あまり良い木がない	平地で仕事がしやすい *ササも小さくこのような山が欲しい	歩きたいところ *手入れが大事なことと理解	あまり良い山ではない *歩くには良いところ	牧歌的 *都会の人が喜びそう	ロケーションが多い平地リンでも川があるとよい *冬にも入れるのが良い	2~3回きられた山 *ゆったり流れる小川は苫小牧の特長	*植生は変化する	木漏れ日の森	木がまだ小さく神も戸惑う *大きな木(神宿る)が欲しい	とても公園的 *沼と森がマッチ
28	23	札幌	女	60	年数回	緑が光ってる *落ち着き	明るい日差し	歩きたい道			広大で懐かしい *鳥が一杯			親しみ	可愛い *ひとつだけ願いが叶いそう	都会的 *大人の語らいが進みそう
29	25	札幌	女	60	年数回	明るい *いってみたい	ロマンがある	笹道も手入れされるとききれいだった	*公園の近くにこんな林があるとは素晴らしい	広々としている	手入れされているのできれいです *散歩道として歩きたい	水の流れると落ち着く	*山椒の丘という名前がよいですね	*西野緑道と似ているのかな?	*春から夏にかけての神社をみてみたい	大きな公園って感じ *しぜんなところをいっぱい残してる
30	30	札幌	女	60	年数回	あかるい、さわやか	一人で歩きたい、ゆったり、ほっこりする	すがすがしい	庭の延長	伸び伸び	美しい陰陽が整っている感じ	なつかしい		スポーツのにおい	春の庭	楽しい、うれしい、調和
31	12	札幌	女	70	年数回	整った感じ	親しみ	浄化される	森らしい	空間、広がり	交流、ふれあい	なごみ	うっそう	明るすぎる	土くさい	大きすぎる
32	2	札幌	女	76	月2	静寂 懐深い	緑が濃く葦を運びたい	木々と雪のバランスがよく整備されている	樹木が整備され町民の熱意が感じられる	木々と畑の整った相みえる点	紅葉が美しく川の感じも美しい 整備されている	河川のながれ、携帯がよらしいです	遠く並木の続く自然的な丘ですね	さみしさの感ぜられる木立	枯れ木のためかさみしさの感ぜられる周辺	整備美しさの感ぜられ川の流れもよろしい 樽前山の背景も
33	24	札幌	女	59	月1回	明るい、ミズナラの木	暖かそう、柔らかい *やさしい森	強い印象を受けない、自然体(个性的でない) *動物によく会いそ	緑が深い *ゆったりしている	人里に近い森 *歩きやすそう	美しい *水場が美しい	寒い感じ *川があるのに今までの森の中ではあまり好きでない	緑が濃い	森の印象を持たない *森のイメージでない	鎮守の森	公園のイメージ
34	1	下川	男	35	毎週	里山、迎え入れる	森の生活、静、ソロ		道と森との良い関係 里山	ドイツ 開放感	ぼかーん のんびり老若男女	シンプル IS ビューティフル	命	パークゴルフ場 作り物	公園 花見	森林療志向(初心者から中級まで) 旭川神岡公園
35	43	千歳	女	40	毎週	明るい *黄緑色がきれい、歩きやすそう	より暗い *緑の匂いが濃そう	冬なので空気が冷たそう *まっすぐ伸びた木々が印象的、車道がくっきりした感じ	葉が気持ちよさそうに感じる *葉に包まれたい感じ	広々した感じ *寝ころびたい	淋しい感じ *孤独を感じる時には行きたくない	緑がきれい	整備されている *半分人工的	閑散としている	空気が美味しそう *子供と行きたい感じ	
36	35	当別	女	30	年10回	木洩れ日の路 *明るい感じがする			*きれいに整備されている	*平で広々している	いいこの場 *人が集まるところ					*橋できれいに整備されている
37	36					朝や晴れた日に楽しくなりそう		すがすがしい								昼下がりの散歩に!
38	28	浦河	女	30	毎週	明るい *緑が鮮やか、若々しい	すかっと *足元がふかふか	迷路への入り口 *楽しいものが待っている 探求へgo!	にぎやかさ、もさもさ	広い(空間的に) *ゴルフ場のような	きれい、整然 *川、水が気持ちよい	物静か *川がただ黙々と流れている	無鉄砲 *あっちこっち元氣一杯	都会的 *少し樹が苦しそう	人とともに *長い間見守ってきたカンジ	ようこそ!! *ごゆっくりご覧ください

39	27	小樽	女	60	年数回	すがすがしい感じ * 幸せなとき、ものを考えたいときに行きたい	ちょっとおそれを感じる * 実が引き締まる感じ	コドク感を感じる * 自分の行く末を考える	豊かさでホウヨウされる感じ	はっきりした幸福感	都会に近くいつも散歩に歩きたい感じ	ちょっと寂しい感じ、悲しみも感じる	どンドン分け入って植物の名前を知りたい * 子供時代を思い起こさせてくれる	赤毛のアンの赤い土を思いました	親しみやすい感じ、仲良くしたい感じ	気持ちが安定する感じがします
40	8	喜茂別	男	60	毎日	大木が多い、道が広い * 整理されている	自然が多い * 自然のままでよい	ササの中で美しい、癒やしあり * 立ち木が良い、木育されている	道が自然でよい * 枝が多い	道と林の配置が良い * 広い感じ、花がある	整備されている * 子供づれには良い、湖、川がきれい	河川が自然のままでよい * 平坦である	山が木で覆われている * 生い茂っている、草が多い	道がきれい、自然がない * ジョギングができる	神社の道がきれい * 整備されている	公園らしい公園 * 林ではない大径木の森
41	19	喜茂別	女	50	毎日	明るいやさしさ	命	力強さ	静かさ	広々 のどか	親しみ	奥深さ		段取りのよさ	少年の遊び場	管理された場
42	34	倶知安	男	40	月数回	下層がきれいに切られている * 都市公園のように手が入られている	木が適当に込み合っている * 笹の高さがちょうどいい感じできもち	冬の感じがいい	色々な木が生えている	暑そうな感じがする	アスファルトの道がなじんで見える	普段着の林	歩くのに丁度いい林	直ぐ飽きそうなきがする	森と共に神社があるという気がしない	子供たちが楽しめるような林
43	7	世田谷	男	40	毎週	自然公園 * 管理された林、自然学校、管理しすぎ	心地よい空気が良い * 森の精霊が集まる	さらに人間の手入れ管理が必要	人間が集まることを期待した森作りがされている	ドイツの森と似ている * バランスが良い	自然公園 * 天然林と人工林、自然と人間	良い林 * ゴルフ場にならずにほっとしている	* 人が来るのを待っている	* 社会復帰直前に歩くのんびりコース	* 古い樹の精霊	* 行政的な整備

感想 = いろいろ  
情緒的に感じている

## (2)印象表現

印象表現は、参加者の住所や性別、年代による変動は見出せない。やや、傾向が見て取れるのは、森林別である。森林別にもばらつきはあるが、数名が類似した表現を用いることがあり、平均的なイメージと見ることができた。例えば次のとおりである。

つた森山林...やさしくやわらか、若い、ゆったり、のびやか、清涼、里山、整理されている、明るい、静寂、いこい、気持ちよい

小屋周辺...なつかしい、暗い、あたたかい、安心・仲間・輪、人のおいと天然、縄文、深い、出会い、静か、たよりない、冥想の場、一人で歩きたい、ほっこり、森の生活、おそれを感じる、森の精霊が集まる、陰気くさい、鬱蒼、明暗、エネルギー

笹道フットパス...入りにくい、縄文の思い出、思考する道、小動物の気配、心が静まる、浄化される、迷路の入り口、孤独感、いやし、清涼、希望、さびしい、こざっぱり

大島山林...ひとけない、人の気配ある、整った、親しみ、鬱蒼、なじみ、安心、談笑、交流、新しい里山、葉が気持ち良さそう

柏原...シカの楽園、広々、開けた、雄大、開拓のにおい、開放、親しみ、心が広がる、のびのび、幸福感、のどか、ドイツ風、

北大研究林...親しみ、整然、嬉しさ、開放感、和み、受け入れる、心がなごむ、落ち着く、陰陽が整っている、生命力、憩い、やさしい、大切な居場所、

有珠の沢...清しさを、せせらぎがやさしい、なつかしい、なごみ、静寂、のどかさ、普段着、寒い、寂しい、悲しい、シンプルな美、物静か、奥深さ、

豊川・山椒の丘...元気出る、さびしい、すずしい、カムイミンタラ、うっそう、命、無鉄砲、里山らしい、こっそり行きたい、なじみの裏山、マチへの憩い、人が来るのを待っている、

こもれびの道...さびしい、森じゃない、造られた森、明るすぎる、都会的、親しみ、身近、安心、買い物が楽しくなる、固い、人工、木が苦しそう、すぐ飽きそう、自然がない

糸井山神社...守り神、小さな聖地、神はいなさそう、ちょっと怖い、清心の森、洗心の森、閑散、土臭い、寂しさ、親しみ、古い樹木の精霊、

錦大沼公園...包容力、親しみ、エネルギー、安心感、印象うすい、公園的、都会的、「ようこそ」、気持ちが安定、行政的、一般的、ひんやり、自然の前庭、包み込んでくれる、清楚、いやし、いつまでもいたい、

暗さはこころのマイナス表現を喚起するようで、それは「おそれ」と関連がありそうにみえ、さらにそれは「おどろおどろしさ」「霊性」への直感につながっているように見える。

苦小牧から参加した人の性別・年代別印象表現

性別	年代	つた森山林	小屋周辺	笹道フットパス	大島山林	柏原	北大研究林	有珠の沢	豊川・山椒の丘	こもれびの道	系井山神社	錦大沼公園	
男	40	入りやすそう *平坦なのでトレイルランとかでき こちよ		やや入りづら い *枝下が低い 先が見透かせない	家の近くに欲しい	シカのためにある草地 *エゾシカの楽園	日本じゃない	欲しい広葉樹林 *買うならこういう山林かな	「山椒の丘」いいんじゃない	お手軽森林浴		一般的な公園	
		明るい *明るく手入れされた	なつかしい	若い	人の気配がない	?	水	流れ	?	人と近い	?	管理された森	
	静寂、こもれび *若い	明暗	電車ごっこ、お手つないで	未整備もあり親しめる	防風林、リスがいそう	整然としている *親しみやすい、なご	こけむした静寂	?	親しみやすい、安心 *健康	神聖	龍の森		
	すがすがしい感じ *幸せなとき、ものを考えたいとき行きたい	いやし	希望	いってみたい	広々	季節の移ろい	水音が聞こえそう	開ける	いい	サクラが見たい	開放的		
	明るい	うっそうとした	よい森林浴の場	うっそうとした	開けたところ	色々あり散策にはよい	川のせせらぎが聞こえ	里山らしい	散策によい	落ち着きさ	色々あり散策によい		
	明るく散策が気軽にできる *是非子供たちに遊んでもらいたい	開拓村を思い起こす *陰気くない	道があるのは考えず歩けるどっちに行くか迷いがなく *うっとおしさはない、自然の姿を素直に受け入れる	早春のカイテキさを感じる *特にやわらかく優しさを感じた、緑が美しい	自然を程よく残しているのが良い *自然と生活の調和を考えさせられた	整備され安心して散策できる *自然も多く嬉しくなるところである	小川があり幼い頃を思い出させてくれる *子供たちを古川で遊ばせたらどんなに喜ぶだろうか	雑然とした中に一輪の花に印象を強くした *自然の中に一厘の花や実は与える印象を大きく変えてしまう	社殿は自然の多いところが威厳があり神秘的 *陰気くさくあまり好きでない、こわい印象がある	自然と整備がバランスよくみあわさっている *でも大衆化して面白さに欠ける			
	いいの森*人のいやすい場所	縄文の思い出 *眠りの森	縄文の思い出 *大空の道(太陽の道)	新しい里山 *育てよう大きな森へ	開拓の道すがら *人の生活のにおいのある森	指導者の森 *森へのいざない、森とのふれあい	マチと森との接点 *これからの林、水を認識する林	マチへの憩い *隠れた名所	ミニアウトバーン *木の生長を考えねば	里山の原型 *初めて住んだ人の足跡	自然の前庭 *鳥の目になって梢を、魚の目になって岸辺を、無視の目になって草むらを見		
女	40	気持ちが良い	あたたかい	こざっぱり	なじみやすい	雄大	開放感	こじんまりしたのどかさ			子供の遊びの森	ひんやり	
		整理されている *歩きやすそう	人のにおいと天然の香りが交じり合っている	小径が獣道のように天然の姿に近そう	手入れが行き届いた公園である	何かを待っているよう	マチから近い憩いの場、誰でも受け入れてもらえる	このままもう少し放っておいて欲しい	大人数で行くより一人でこっそり行きたいイメージ	固い印象	秋(冬?)の写真のせい、さっぱり、さばさばした感じ	整備されているが深い森も残っている	
		明るい *懐かしい	深い	さびしい	整った	広い開放感	親しみ	自然、天然	虫の目	風	茶(セビア)	湿った	
	50	やさしくやわらかな感じ	体を動かしてみたくなる林 *ここそこにエネルギーを感じる	ただ黙ってどンドン歩きたくなる *むだなことを考えずにただそこにいることだけを感じ	だれかと行きたい林	大きい、遊べる	何かを発見でS切る、変化が楽しい *見慣れた風景でも毎日見たくなくなるところ	水尾とが遠くにいても響いてきそう	草が元気！歩みにくいかな *聞いたことがあったが場所がわからなかった	つくられたもの、という印象	昔話に出てくる神様がいます	苦小牧のなかで包み込んでもらえるところ *よく行くので、みると安心感が湧いてきます	
		清涼	幼い頃の思い出	ルディックとノスタルジー	胆振100年の森	素晴らしい人工林	心が和む場所	沢の小川がながみでいい	いつまでも流れて	三升の丘と	身近に感じる	なつかしい風景	いつまでもここにいたい気と木と
	60	緑がすてき	手をくわえている		親しみやすい	親しみやすい 音を思い出す				なじみの裏山	毎日の生きる道		清楚 *心がいやされる
		70						近くで静かで良い *車が少ない、池があ					

苦小牧在住の参加者の記入内容に大きな特徴はみつけられないが、土地勘がある分だけ実体験に基づいた具体的な評価がある。



## 5 . 考察

アンケートで回答された内容を見ると、実に多様で多弁な印象表記であろうと思う。環境としてとらえている反面、自分の感性をフル回転しながら個人的な印象を真面目に記述してくれている。この多様さは、箇所ごとの森林を別の個性としてみている証拠であり、この多弁さは、とても交流の糸口が見えるといえないだろうか。森林が示している多様なプロフィールに、人の感性は確実に応えている。それも感情や情緒で多様な表現も出来る程度に活発である、と受け止められる。

プラス評価のジャンルでは、明るさ、広さ、静寂、気持ちよさ、嬉しさ、親しみ、希望、落ち着き、清清しさ、いやし、マイナス評価に入るのは、寂しい、暗さ、陰気くさい、うっそう、人工的、霊性を連想させるのは、神様、竜神さま、神聖、おどろおどろしい、などが上げられる。特に印象深いのは、暗さが霊性とつながっていきそうなことである。広大な耕作地、たとえば美瑛の丘のように空に向かって屹立するイメージは、勢いや明るさの象徴であるが、その逆の、影、陰、暗がりに静かさが加わったときに、ひるむ人と、親しみを感じる人に分かれる。

また、人工的であることに対する評価も、自然でないから駄目だという傾向と、安心で都会的でいい、とい評価がある。しかし、適度に手入れされたものへの評価は共通してよいのではないかと考えられる。

このアンケートの真のねらいは、人々が林や森を、情緒的にみることをやめているのかどうか、情緒的表現を解禁された場合、どういう森にどういう印象をもつのかを幅広くつかむことだった。その延長線上で、森や林の特性を前面に出して、個人が日々の感情や情緒に左右されながらもっと積極的に林や森を選択することを確かめてみたいと思う。例えば、寂しいときには の林がいい、とか、悲しいときには を歩くと癒やされる、という風に使い分けるのである。身近なところにふんだんな林がある苦小牧などでは実践することが可能なように思われる。

以上のように、このアンケートでは人々が情緒的な把握をしているという実態はわかったが、それを人々の日常においてどのように位置づけられていくのかはわからない。ただ、林に向かう頻度が増して、それにともなって自己内観が進み心の安定がもたらされたり、風土とか土地に関する感性が蘇ったりするような、より深い付き合いが可能になれば、林や森が本来持っていると考えられる心身へのさまざまな効果、たとえばリラックス、精神の安定、ひらめき、内省などが日常的にできるようになるのかもしれない。

最後に、11の森林の画像を透視してくださった巫女様のIYさんにこころからお礼を申し上げる。参加者の連想と印象等の書きぶりが、わたしがIYさんのメッセージを読むことによって大いに加速されたことは否めない。それは読み上げるにつれ、ますます取り憑かれたように用紙に向かっていく参加者の気迫ではっきりとわかった。おかげで滅多にない経験をすることができた。橋渡しをしてくれた瀧澤医師にも最後に感謝の言葉を贈りたい。

## \* 参考 1 「巫女様への透視依頼とその返答」

I Yさま

北海道の草苺です。このたびは、Tさんをつうじて、I Yさんがお持ちのスーパーなお力でわたしが関わっている林の横顔を透視(?)していただけることになり、大変光栄に存じます。林は、人の喜怒哀楽(それと淋)などにまったく動ずる風もなくただそこに在るだけですが、どうも喜怒哀楽(+淋+)をもった折々に、訪れるにふさわしい森や林がやはりあるように思われます。林と人のところが、ほとんど結びつきを感じなくなった今日、それは取り戻したいひとつの喪失ではないかとも思われます。

同封したCDには、わたしが関わってきたフィールド5カ所と、公的・私的な所有林6カ所の画像を入れ込みました。必ずしも一番いい顔ではなく、またベストシーズンでもなく、混在しています。どうぞ、わたしのメモもご参考のうえ、眺めた印象を何でも結構ですでお書き留め下されば幸いです。CDにはこの文面も保存しますので、ファイルに入力して頂くことも可能です。

話は替わりますが今年の5月はじめ、TさんとI Yさんのご厚意で手元に届きましたガーデンクーツなどが入れ込まれた腕輪は、その後、ずっと身につけております。はっきり申し上げれば、物事がもうしわけないほど順調に進んできた自分の日々がこの腕輪によってさらに加速された、と感じています。ガーデナーを守ってくれるという思いがけない御利益も、危険も伴う山仕事に関わる身にとって、とても覚醒するものがあると思っております。今回のお願いを引き受けて頂いたこととあわせ、ありがたく思います。

2008/08/29 草苺 健

雑木林&庭づくり研究室

<http://homepage3.nifty.com/hayashi-kokoro/index.htm>

## 森と林のプロフィール

(画像は当日使用したものの中から一枚だけ選択して添付)

### 1. つたもり山林



\* 苫小牧の東の方の海のそばにある森。よく刈り込んであるあたりは森の入り口で、かつては森の所有者が住んでいた場所で、カラムツやヤチダモ、トドマツ、エルムなどの大木が生えています。海に近いために、山を裸にしないで、小さな面積ずつ切っては植えてきました。子供らが遠足に来たりします。林道はフットパス代わりに使います。

注) 1 から 5 は、わたくし草苺が、2 3 年間勤めた「苫東(とまとう)」というインダストリアルパークの中の緑地です。全体は1万 ha、緑地だけでも3,000haほどあり、来年、この緑地を利用しながら管理するNPOを立ち上げる予定です。

#### \* IYさんのご印象

これから安定に向かう過渡期の印象を受けます。つまり、これからの取り組みで森の波動はどのようにも変わります。NPOの人選を慎重になさるといいでしょう。

### 2. 小屋周辺



\* つたもり山林の2 kmほど北にあり、わたしが20 haほど借りて手入れをしています。小屋は一帯の中心にあり、間伐の道具などを入れる作業小屋、兼雑木林の別荘。このあたりは、北海道特有のササがないため、どこでも歩くことが出来、かつ、本州に多いコナラという優しい女性的な樹木が優先しています。小屋から南北にふたつのフットパスが伸びており、小屋に戻ってきます。鬱に悩む方などに隠れた人気があるようです。

#### \* IYさんのご印象

人を受け入れている森ですね。守っているのは、おっしゃるように女神系のエネルギーですね。きちんとコミュニケーションがとれるはず。普段から作業の折々に話しかけてください。

### 3 . 雑木林の笹道フットパス



\* 小屋から南へ伸びるフットパス周辺の林。冬もさほど雪が積もりません。フットパスはほぼ平坦ですが、ゆるやかな起伏があり、遠くまで見通せるせいか、安心感があり、時々エゾシカやクマガラの声もします。ルートはずっと若い林に包まれており、頭の上が完全に開けるのは、小屋の前だけです。手入れがされているために、紅葉がとても美しいのが自慢です。カラマツ（落葉する針葉樹）の林だけは、やや暗く荘厳な感じがあります。

す。まっすぐ立っているのがカラマツです。

#### \* I Yさんのご印象

清しい感じがします。神社の境内のような雰囲気ですね。ここに人が訪れると、癒されるというより浄化された感じがするでしょうね。

### 4 . 遠浅（とあさ）樹林地



\* つたもり山林の北 5 km にある雑木林。林を所有している会社から林の入り口や一部をかりて、町内会が公園にして使っています。内陸にあるためか、つたもり山林よりも大きな木が多くひと気があります。林の隣接地に住宅団地と大きな家庭菜園が出来たせいもあるでしょう。赤いあずまやの向こうにあるのはドロノキという昔はマッチの軸にした樹木です。このエリアでは一番太く直径が 1 m を越えます。今年の秋から、町内会の人たち

ちと風に倒れた木の片づけをはじめます。

#### \* I Yさんのご印象

本州の私たちが馴染んでいる森の感じに似ています。その分神秘性には欠けませんが親しみやすい印象を受けます。

### 5 . 柏 原

\* 苫東（とまとう）のほぼ真ん中にある、防風林に囲まれた採草地。夏、南東の海風が吹くために、幅 50m ほどの防風林が縦横に残されています。そのため、椅子をもって保養地



のように遊びにいたり、新緑のころ、山菜採りに出かけたりします。長距離を移動する際のヒグマの通り道でもあります。ほとんど目撃されることはありません。農道や林道がフットパスとして使われます。

**\* I Yさんのご印象**

草の緑の美しさに目を奪われました。「風の谷のナウシカ」のラストシーンが思い出されます。大

分の麦畑に似ていますね。散歩道として歩いてみたいです。

陽気な印象を受けました。

**6 . 北大研究林**



\* 昔の帝国大学が各地に持っている森林の研究のための林で、ここは苫小牧にある北海道大学の研究林。北海道には東大が富良野に、九州大学が足寄（あしよろ）と言うところに持っています。苫小牧研究林は、ヨーロッパの都市林と同じで、林業をしながら市民に開放し、動植物や地球環境の研究を行っています。近年は世界中の森林研究者のセンターとしても機能しているようです。苫小牧は渡り鳥の通り道で、ウト

ナイ湖が水鳥のサンクチュアリになっていますが、研究林は森林性の鳥のサンクチュアリに当たります。面積 2,700ha をもつこの森は住宅地と接しているため、毎日、カモと遊ぶ市民も多く、わたしは冬になると、小鳥を手に載せて遊びます。

**\* I Yさんのご印象**

川のが感じがイギリスの北部と似ていますね。木の精霊と水の精霊が仲良しなのでしょう。野生の鳥が手に乗ってくるなんてすごい！（草苺さんだからですね。）

研究森は、自然と人間の利害関係が一致している良い例ですね。

**7 . 錦大沼公園**

\* 苫東（とまとう）の反対に、苫小牧の西外れにある森と湖の公園。公園の隣には今日本で一番評価の高いオートキャンプ場と温泉があります。ここも、海から 2 km しか離れていないのですが、木々が寄り添って壊れないで森林を維持しています。この森はとぎれることなく国有林となり、支笏湖など一帯の大森林地帯につながり、札幌やニセコとも森で



結ばれていることになります。子供達にも人気があり、道や木道がしっかりと使い古されています。湖の正面には小さく噴煙を吐く活火山「樽前山(たるまえさん約 1000m)」がどっかと見えるはずですが、この日は残念ながら顔を出しませんでした。

注) 樽前山は「8 . 糸井山神社」の冒頭にアップした写真があります。

### \* I Yさんのご印象

あらゆる要素を兼ね備えたパワースの良い森ですね。整然とした印象を受けます。大変美しいです。維持管理はさぞ大変でしょうね。冬の写真を見たいですね。

## 8 . 糸井山神社



\* 苫小牧の自宅から最も近く、ことあるたびに出かける小さな神社。開拓の頃から大事にされてきたようで、住宅地を見下ろす砦のような丘の上にあります。写真は雪のない12月頃のように、この時期、広葉樹林は、とても明るい表情に変わります。神社の裏からは、木々の向こうに樽前山が望めます。

### \* I Yさんのご印象

845 の写真の木の幹にエネルギーが写りこんでいますね。しおりさんに見せて頂いた写真にもありましたが、マチュピチュ系のエネルギーと思われます。神社というよりも神殿のイメージですね。

## 9 . 豊川・山椒の丘



\* 自宅のある豊川町の裏山。栗の木のほか、山椒の木が実に多いところです。昨年暮れ、鎌をもって丘のてっぺんの藪を刈り払い、私設の展望台にしました。その折、展望台の頂上に枝を広げていたとげのある木がじつは山椒の大木だったので。それでそれまでの仮称「希望の丘展望台」を取り下げ、山椒の丘と命名することにしました。林は所有者のよくわからない手入れのされていない民有林なのですが、散歩や道の刈り払いなどが

ほそぼそと行われています。身近なだけにもっときれいにしたい場所です。

#### \* I Yさんのご印象

山椒ですか!下草と木の関係は私にはわかりませんが、こんなに生い茂っていたら木そのものにとっては好ましくないのでしょうか。木のエネルギーよりも草のエネルギーを強く感じます。

#### 10. 有珠(うす)の沢



\* 家から車で5分の民有地。雑木林の真ん中を、うねうね曲がりながら小川が流れて、苫小牧にきた30年以上前から好きな場所。水は樽前山の伏流で林の上流で湧いており、水汲みにいく市民がとても多いようです。この「有珠の沢川」はわき出してから海にたどり着くまでわずか4 kmほど。

#### \* I Yさんのご印象

小さな竜がたくさんいるようです。時として人間にいたずらするかも・・・水を汲むときはきちんとお礼を言うようにしましょう。

#### 11. こもれびの道



\* 自宅のある一帯がまだ湿地やじくじくした採草地だったころ(恐らく7,80年ほど前)、ヤチダモの防風林が作られ、やがて宅地にされるときに、防風林の半分が残され半分は道路になりました。その残された林にワインカラーの小径が20年ほど前に造られ、車の音が絶えないのに市民がよく歩きます。いわゆる林とはちょっと印象が違いますが、数kmに及ぶ延長ゆえに、細長い林のように親しまれています。

#### \* I Yさんのご印象

ドミノ倒しのドミノのような印象です。ここには古いエネルギーがありませんね。開発の時に去ってしまったのかな?

## こころの森フォーラム 2008

# 身近な森の中に自分の居場所がある

現代はこころの時代と呼ばれてきました。森や林は、人々のこころを優しく包んでくれる、ともいわれてきました。でも今、わたしたちと森林との関わりは限りなく薄く、こころの悩みをもつ人の助けにもなるどころか、自ら命を断つ人も絶えません。

「こころの森フォーラム」では、生活の身近な場所に多様で豊富な森林を持っている苫小牧で、もういちど、森の中に自分の大好きな居場所を探っていきます。喜怒哀楽や淋しさを共にし、変わらず包み込んでくれるもの、それは身近な森林です。



●日時  
平成20年11月29日(土) 10:00~16:00

●場所  
北大苫小牧研究林研修室および林内(現地集合)

●スケジュール(敬称略)

基調講演「森には人の居場所がある」  
10:05-11:30 質疑 11:30-12:00  
龍澤 栄織(植苗病院-精神科医)  
～昼食 12:00-13:00・昼食は各自ご持参ください

プレゼンテーション「林には各々持ち味がある」  
13:00-13:40  
草刈 健(雑木林&庭づくり研究室)

WORK SHOP「森づくりと森林療法」  
14:00-15:15  
上原 巖(東京農大准教授)

総括スピーチ  
石城 謙吉(元北大教授・苫小牧演習林長)  
15:15-15:40

●参加費 無料 ●定員 50名(先着)

●主催 「こころの森フォーラム2008」実行委員会  
後援 北の森林と健康ネットワーク、NPO 森林療法研究会、北海道大学北方生物圏フィールド科学センター、植苗病院

### ■参加申し込みとお問い合わせ

「こころの森フォーラム2008」実行委員会事務局 植苗病院・佐渡

tel 0144-58-2314 fax 0144-58-2564 (裏面=申込み様式) e-mail uenae@m.email.ne.jp



参考3 「基調講演」  
準備中

参考4 草苴の発表内容  
準備中